

令和6年度 千歳市市民評価会議議事録

会 議 名	市民評価会議（第1回）		
日 時	令和6年4月26日（金）14：00～15：40	場 所	市役所本庁舎2階庁議室
出 席 者	委員：7名、アドバイザー：1名、事務局：2名		

会議概要	1. 会長及び副会長の選出 会長に吉本 直人委員、副会長に増子 洋行委員が選出された。 2. 事務局説明 （1）市民による行政評価制度「市民行政アセス」について （2）令和6年度評価作業スケジュールについて （3）施策評価表の見方について （4）対象施策の選定 3. 令和6年度「市民行政アセス」対象施策の選定 委員の意見により対象施策を選定した。 ①健康増進・疾病予防対策の充実（保健福祉部健康づくり課） ②低所得者の福祉の向上（保健福祉部福祉課） ③アイヌの人たちの福祉の向上（保健福祉部福祉課） ④交通安全対策の充実（市民環境部市民生活課） ⑤防犯対策の充実（市民環境部市民生活課） ⑥学びを支える環境づくりの推進（教育部生涯学習課） ⑦学びで育むまちづくり活動の充実（教育部生涯学習課） ⑧森林の整備と保全（産業振興部農村整備課） ⑨道路の整備・管理（建設部道路建設課） ⑩地域と連携した除雪・排雪（建設部道路管理課） ⑪開かれた行政の推進（総務部総務課）
------	--

主な質疑・意見等

【委員A】

対象施策の事務局案について、選定基準に基づいて選んだということではあるが、他にも選択できる施策の幅があるなかで、これらの施策を選んだ理由があれば可能な限りで説明願いたい。

【事務局】

選定基準を考慮したほか、3年以内にヒアリングを行っていない課を優先して選定したところである。

担当している施策が多い課もあり、必ずしもこれを満たせないこともあろうかと思うが、様々な課が委員の皆さまに施策・行政の取組を説明するということは、職員の意識の向上にもつながるものと考えている。

【委員A】

担当課の負荷の分散との話であったが、例えば、施策番号 16「低所得者の福祉の充実」と施策番号 17「アイヌの人たちの福祉の向上」は同じ「福祉課」となっているが問題ないのか。

【事務局】

これまでも関連性が深いこと、展開方針が同一の括りであること、担当課が同一であること、これらに合致するものは、1 回でまとめて評価をするというようなやり方をしている。

【委員B】

施策番号 36「学びを支える環境づくりの推進」と施策番号 37「学びで育むまちづくり活動の充実」も同じような施策だと思うが、これらもまとめて評価するという考え方が。

【事務局】

そのとおりである。

なお、施策の「目指すこと」は、施策番号 36 が「市民が生涯を通じていつでもどこでも自由に学び、活躍することができる環境の充実を目指す」としており、施策番号 37 については、「学びをきっかけにして、地域の絆づくりやまちづくりに寄与する取組の充実を目指す」としており、「目指すこと」が少し異なっている。

ちなみに、昨年度の会議において、山中前会長から助言いただいた内容として、施策を選定する際に、バランスよく選んでいかないと、最後に偏った施策が残ってしまい、評価が大変になってしまうという話があった。

【委員A】

評価は 10 年ですべての施策を実施するというところで、この 10 年間のプランは、事務局でも検討してほしい。

【事務局】

承知した。来年に向けて検討させていただく。

【委員A】

改めて、委員の皆さまの意見を伺いたいと思う。事務局案に賛成という意見も含めて、ご発言いただければと思う。

【委員C】

今年度から向陽台地区にデマンドバスや自動運転も取り入れられていくということもあり、個人的には公共交通に興味がある。

【委員D】

基本的には事務局案に賛成であるが、基本目標の「地の利と資源を生かした産業のまち」と「暮らしやすく便利な都市基盤があるまち」からはそれぞれ 1 個しか選定されていないので、そこから複数選定してもよいのではないかと思います。

【委員E】

今回初めての参加なので、どういう形で進んで行くのか様子を見ながらと考えている。

個人的には、キウス周堤墓群が好きなので、施策番号 50「文化財の保存と活用の推進」に興味があったが、令和 3 年度に実施しているようなので、事務局案に賛成である。

【委員B】

事務局案に賛成ではあるが、時代にマッチした内容を対象とするのが良いのではないかと思う。確認であるが、第7期総合計画の計画期間は10年間であるが、中間年での見直し等を行う可能性はあるのか。

【事務局】

第7期総合計画の見直しについては、市議会からも質問をいただいているところである。

現在、次世代半導体拠点推進室において、ラピダス社が立地して関連企業が集積していく中で、今後千歳市がどのようなようになってゆくのか、千歳市の将来を予想する「(仮称) 将来ビジョン」の策定を進めており、当該ビジョンを踏まえて、第7期総合計画の見直しを実施するかどうかについて、検討しているところである。

【委員B】

101の施策が変わるということもあるのか。

【事務局】

令和5年度までは101施策で、令和6年度からは、半導体関連の施策を追加し、102施策となったところである。

見直しに伴う施策の構成については、現時点ではそこまでの話には至っていないが、見直しをどのように考えるかによっては、変わる可能性も考えられる。

【委員B】

個人的には観光に興味があり、例えば、宿泊税の関係については、これはまた別のところで検討されているのか。

【事務局】

宿泊税についても、関連する部署において検討を重ねているところではあるが、現段階ではお話しすることは難しい。

【委員F】

市民評価会議の場では、これからやることではなく、やったものを評価する場であることに留意する必要がある。

【アドバイザー】

今回皆さんにお願いするのは、令和5年度分の評価であり、例えば、ラピダスの関係にしても、令和5年度の評価となると、具体的な内容の評価はできないと思われる。

【委員G】

ざっと見た感じだと、過去3年間では、こども福祉部と建設部の施策が選定されていないので、これらの部から選定するのがよいのではないかと感じた。

【委員F】

最終的にはすべての施策の評価を行わなければならないことから、バランスの取れている事務局案でよいと思う。

興味のある施策だけ評価してしまうと、後に、法に基づいて実施している事業などが残ってしまう。

【委員A】

私も基本的には事務局案に賛成であるが、ラピダスの関連で、施策番号 62「企業誘致の推進」や施策番号 63「立地企業等の支援」は、同社が千歳市に立地することに至ったベースとなる部分であり、今までの姿勢を聞いてみたいという思いはある。

また、千歳のシンボルで、今非常に活況に呈している新千歳空港についても、これまでの施策を聞いてみたいという気持ちはある。

篠原アドバイザーから補足やフォローがあればお願いしたい。

【アドバイザー】

最終的にはすべての施策の評価を行わなければならないというのが正直なところではあるが、皆さんそれぞれが興味関心を持たれていることがお伺いできたので、非常に参考になったと思っている。

先ほど委員Eがお話されていたが、今年度やってみて、経験して、また次年度に繋げていただくということも手だと思う。この1年間、興味関心を持たれている施策の取組を、市民として生活しながら見ていって、そして、令和7年度のときに、この令和6年度の取組を皆さんが評価するというようなことができる、よりいい評価になっていくのではないかと考える。

また、委員Gがお話されていた、こども福祉部の施策に関しては、第6期総合計画の途中で部が新設された経過もあり、前回の計画の中でも取扱いが難しく後回しになってしまったということがあったので、今回追加するのも手かなとは思いますが、一方で、令和元年度ないし2年度に評価を行ったと記憶しているので、来年度でもいいのかなと思う。

私としては、事務局の案が、バラツキもなく良いとは思いますが、2つまとめて評価する施策については、担当課の職員や評価される委員の皆さんも頭の整理が大変な状況もあるので、負担がないようにと思っている。ただ、施策の事業数がそこまで多くないので、問題ないかなとも思う。

【委員A】

皆さんから意見等をいただいたが、基本的には、事務局案で選定するということがよろしいか。

— 異議なし —

【委員A】

事務局におかれては、担当課との調整をよろしく願います。

※調整の結果、次の11施策に決定した。

なお、福祉課と市民生活課、生涯学習課の施策については、2施策をまとめて評価することとし、6～7月に実施する「説明、ヒアリング、評価・議論」は1施策分の時間で実施する。

- ①健康増進・疾病予防対策の充実（保健福祉部健康づくり課）
- ②低所得者の福祉の向上（保健福祉部福祉課）
- ③アイヌの人たちの福祉の向上（保健福祉部福祉課）
- ④交通安全対策の充実（市民環境部市民生活課）
- ⑤防犯対策の充実（市民環境部市民生活課）
- ⑥学びを支える環境づくりの推進（教育部生涯学習課）
- ⑦学びで育むまちづくり活動の充実（教育部生涯学習課）
- ⑧森林の整備と保全（産業振興部農村整備課）
- ⑨道路の整備・管理（建設部道路建設課）

⑩地域と連携した除雪・排雪（建設部道路管理課）

⑪開かれた行政の推進（総務部総務課）